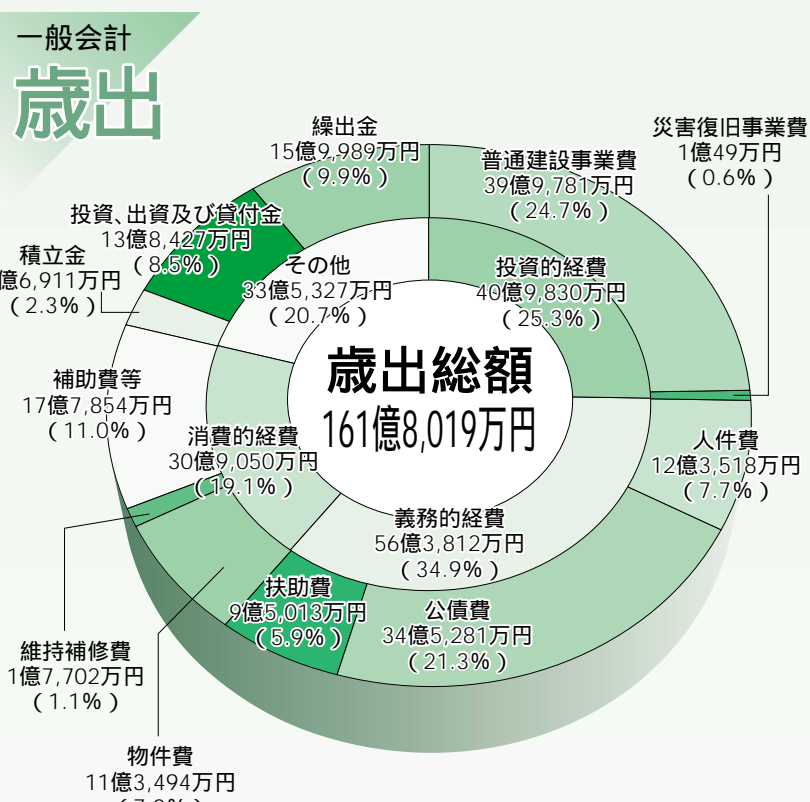
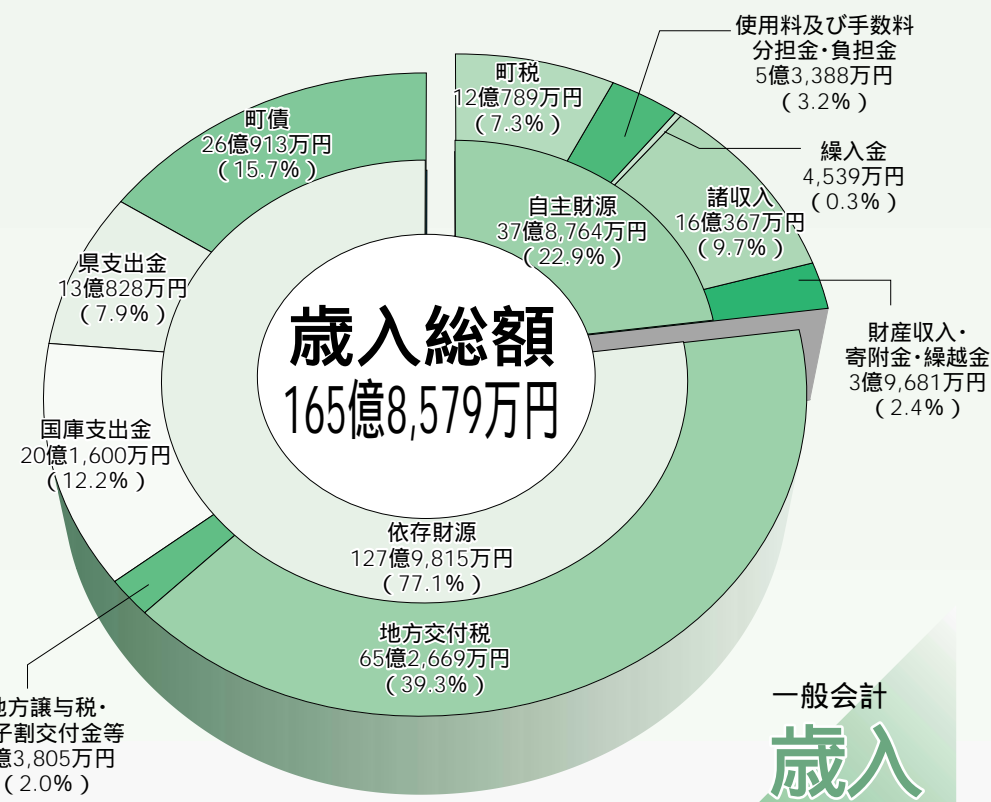


奥出雲町決算報告

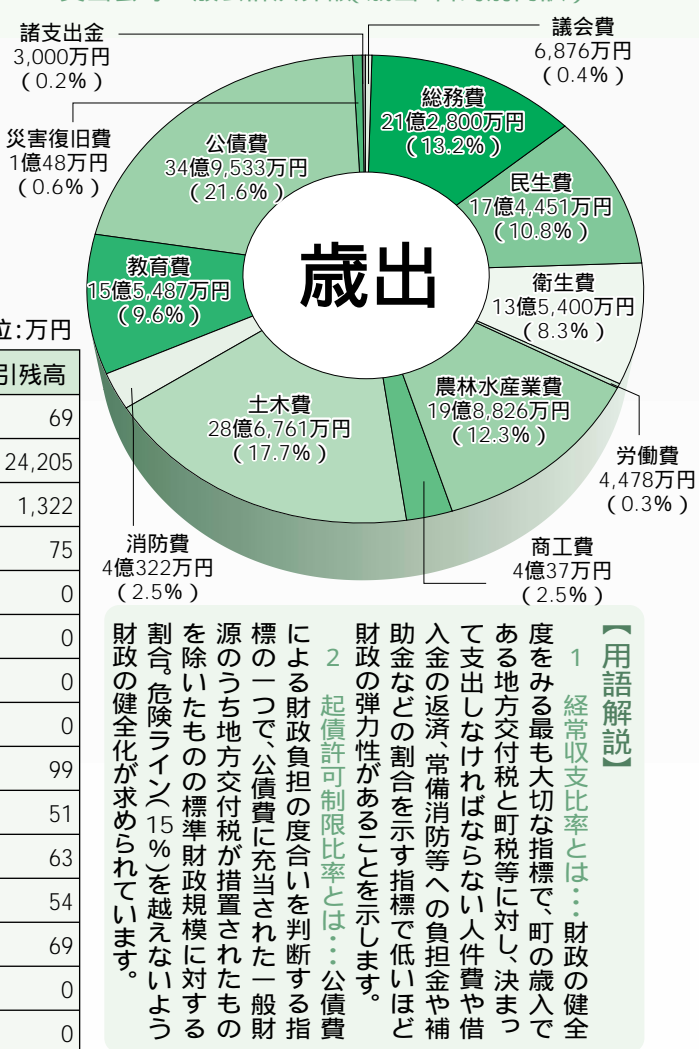


平成21年度に実施した主な事業

一般会計

- 自然公園整備事業(鬼の舌震遊歩道整備) 1億217万円
 - サイン整備事業(看板改修、モニュメント整備) 6,526万円
 - 移動用通信鉄塔整備事業(船通山地区携帯電話鉄塔施設整備) 1億5,493万円
 - 三成地区街路灯整備事業 9,978万円
 - ダム対策事業(山林管理道岩田線付替) 6,182万円
 - 馬木幼稚園整備事業(渡廊下整備) 6,947万円
 - 基盤整備促進事業(金川地区ほ場整備事業) 7,585万円
 - 間伐作業道等整備事業(基幹作業道整備5路線) 7,140万円
 - 観光レクリエーション施設整備事業(奥出雲延命水の館等整備事業) 1億6,506万円
 - 道路新設改良事業(町道佐白北原線等) 10億2,353万円
 - 町営住宅建設事業(滝の上第1団地建替、稲原団地建替事業) 2億1,654万円
 - 小学校施設整備事業(亀嵩小改築、馬木小屋内運動場改築等) 5億445万円
 - 中学校大規模改修・耐震改修事業(横田中屋内運動場、仁多中) 1億9,090万円
 - 公共土木災害復旧事業 5,045万円
 - 簡易水道事業特別会計(雨川地区簡易水道改良事業) 1億5,957万円
 - 公共下水道事業特別会計(横田地区) 8,441万円
 - 合併浄化槽事業特別会計(市町村設置型合併処理浄化槽設置(町内全域)49基) 7,264万円
- 平成20年度からの繰越事業を含みます

H21奥出雲町一般会計決算額(歳出・目的別内訳)



【用語解説】
 1 経常収支比率とは：財政の健全度をみる最も大切な指標で、町の歳入である地方交付税と町税等に対し、決まって支出しなければならぬ人件費や借入金などの返済、常備消防等への負担金や補助金などの割合を示す指標で低いほど財政の弾力性があることを示します。
 2 起債許可制限比率とは：公債費による財政負担の度合いを判断する指標の一つで、公債費に充当された一般財源のうち地方交付税が措置されたものを除いたものの標準財政規模に対する割合(危険ライン)15%を越えないよう財政の健全化が求められています。

【表2】特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残高
町立奥出雲病院事業特別会計(収益的)	18億6,502	18億6,433	69
町立奥出雲病院事業特別会計(資本的)	5,704	2億9,909	24,205
国民健康保険事業特別会計	16億4,001	16億2,679	1,322
後期高齢者医療保険事業特別会計	3億6,508	3億6,433	75
老人保健事業特別会計	903	903	0
介護老人保健施設事業特別会計	3億4,870	3億4,870	0
介護サービス事業特別会計	3億4,051	3億4,051	0
訪問看護ステーション事業特別会計	1,853	1,853	0
簡易水道事業特別会計	9億7,139	9億7,040	99
公共下水道事業特別会計	3億5,627	3億5,576	51
農業集落排水事業特別会計	4億8,428	4億8,365	63
合併処理浄化槽事業特別会計	1億3,654	1億3,600	54
仁多発電事業特別会計	3,731	3,662	69
三井野原スキーリゾート事業特別会計	944	944	0
国営農地開発事業特別会計	8,413	8,413	0

平成21年度の決算について

平成21年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月定例議会で認定されました。町の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたか、町の家計簿をお知らせします。

一般会計

歳入

歳入決算額は165億8,579万円です。前年度と比較すると6億1,248万円(3.8%)の増となりました。歳入決算額のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、町債、自動車取得税交付金等を合計すると77.1%で、依然として国や県に依存した財政構造となっています。

歳出

歳出決算額は161億8,019万円です。前年度と比較して5億3,155万円(3.4%)の増となり、特に投資事業は観光レクリエーション施設整備事業(奥出雲延命水の館等)、町道新設改良事業、亀嵩小学校改築等小学校施設整備事業、横田中学校屋内運動場大規模改修、耐震補強事業など生活基盤、産業基盤及び教育施設の整備、国の経済対策臨時交付金事業の実施により前年度比8億5,634万円の大幅な増となりました。

主な財政指標

経常収支比率(1)は83.9%で昨年と比べ2.3%の減となりました。これは議員定数削減による人件費の減及び、昨年度以前に財政健全化策として実施した町債繰上償還の効果による公債費の減によるもので、財政の硬直化は改善されつつあります。

特別会計

一般会計と区別して処理する会計として、14の特別会計があり、その決算は表2のとおりとなりました。

各特別会計に対する一般会計からの繰出金は、奥出雲病院事業特別会計に3億5,287万円、国民健康保険事業特別会計に1億1,284万円、後期高齢者医療保険事業特別会計に2億4,316万円、老人保健事業特別会計に1億2,550万円、介護サービス事業特別会計に7,477万円、簡易水道事業特別会計に4億1,850万円、公共下水道事業特別会計に1億4,900万円、農業集落排水事業特別会計に2億8,470万円、合併処理浄化槽事業特別会計に2,680万円、三井野原スキーリゾート事業特別会計に4,180万円、国営農地開発事業特別会計に7,360万円となっています。